

バーチャルツアーによる農業水利施設探検

テーマ	農村振興、バーチャルツアー
キーワード	バーチャルツアー、住民参加型、3D カメラ、ドローン空撮、維持管理

～DX で地域資源に触れる 360 度の旅～

バーチャルツアーとは

バーチャルツアーは、場所・空間の 360 度画像をオンライン上に表現し、閲覧者が上下左右好きな方向を見ることができる VR コンテンツです。看板をクリックして紹介文を読んだり、進みたい方向をクリックして自由に移動したりなど様々な仕掛けを追加することができるため、工場、遺跡、博物館等の施設を紹介するツールとして注目を集めています。



↑ バーチャルツアー作成の例：クリックすると好きなところへ移動でき、施設の説明を読むことができます。

農業水利施設が抱える課題とバーチャルツアーの活用

近年、農村地域における混住化や高齢化の進行により、水源・農村環境の保全や農地、農業用施設の適切かつ継続的な維持管理が課題となっています。地域資源としても価値の高い農業水利施設を適切に維持管理していくには、地域住民の方々に周知し、また興味を持っていただき、保全・管理にご協力いただくことが重要です。

そこで、農村地域や農業用施設を題材にしたバーチャルツアーを作成し、地域の観光資源、他の公共施設と一体で紹介するイベントを実施しています。水の恩恵を受けている農家の方のみならず、地域住民、消費者の方々に農業水利施設が地域を支えるインフラとして重要な役割を担っていることを周知することが可能です。多くの方に農業水利施設に興味・関心を持っていただけることで「**住民参加型**」の**農業用施設管理**につながることを期待されます。

また、地域の紹介以外でも、現場状況、施工状況等、臨場感のある説明資料や E B P M のツールとして利用するなど、幅広くバーチャルツアーの活用方法を提案していきます。

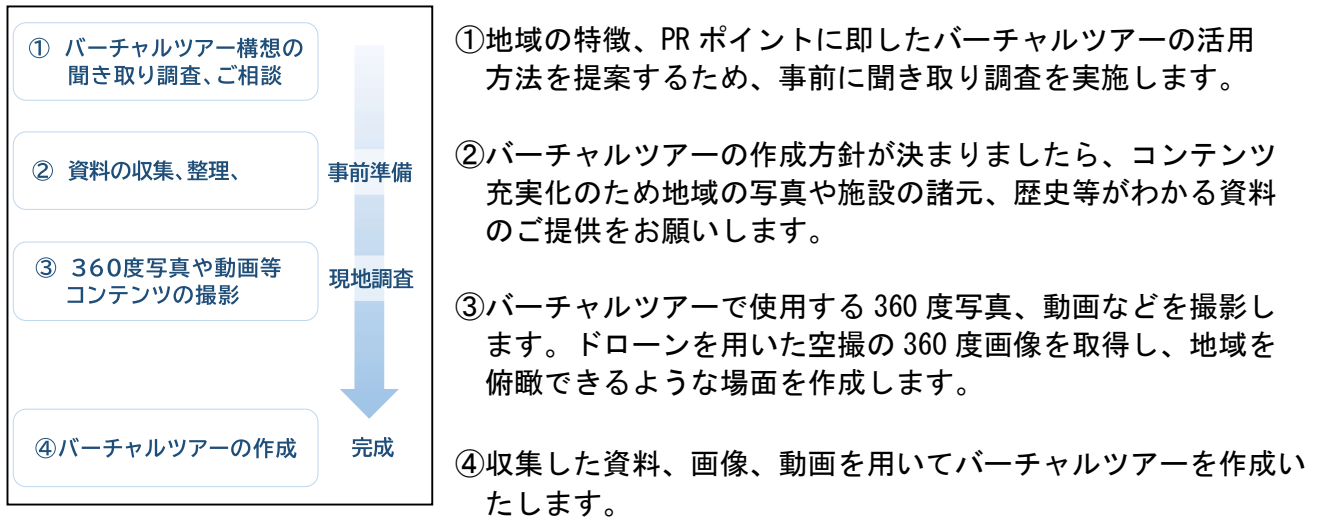
日本工営株式会社

お問合せ

内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

実施の流れ



制作期間：通常 2 か月程度※規模により異なります



↑ ドローンによる空撮の一例：バーチャルツアー上では 360 度見渡すことができ、圧巻です。

バーチャルツアーを活用する 5 つのメリット

① 既存サイトへのアクセス	バーチャルツアー上に HP 等のリンクを貼り、既存サイトと連携することができます。
② データ保管庫としての活用	図面等のデータを、バーチャルツアー上で視覚的にわかりやすく保管することもできます
③ 観光、移住の促進と地域の活性化	バーチャルツアーで地域の魅力、観光資源をアピールし、地域の活性化を促すことができます
④ 臨場感のある情報発信	情報発信が難しい道路の整備状況などの現場の様子を、視覚的に臨場感をもって伝えられます
⑤ 民意の反映	根拠に基づいた政策立案の一助として、住民の方々に施策の理解を深め、興味・関心を持ってくださり意見を募るきっかけになります

関連実績

令和 4 年度伊達西根堰バーチャルツアー委託業務
 令和 5 年度伊達西根堰バーチャルツアー委託業務
 令和 5 年度施設見学会バーチャルツアー動画作成委託業務